



霧の中から
ラフディ・インブルが
流れ
ウディ・アレンの
愛の詩が
聞こえてくる...

MANHATTAN

マンハッタン

ウディ・アレン ◆ ダイアン・キートン ◆ マイケル・マーフィ ◆ マリエル・ヘミングウェイ ◆ メリル・ストリープ ◆ アン・バーン
監督・脚本 / ウディ・アレン ◆ 共同脚本 / マーシャル・ブリックマン ◆ 製作 / チャールズ・H・ジョフェ / ジャック・ロリンズ
撮影 / ゴードン・ウィリス ◆ 音楽 / ジョージ・ガーシュウィン ◆ スーピン・メータ指揮 ニューヨーク・フィルハーモニック
(サントラ盤 CBSソニー)

United Artists
A Time Warner Company ユナイテッド・アーティスト

*70年代掉尾を飾る

愛と感動の傑作!

喜劇の才において、すでにチャップリンを凌ぐとさえいわれる、「アニー・ホール」「インテリア」のウディ・アレン。その彼が気弱で憎めない愛の狩人に扮し、あなたを素晴らしい恋の街ニューヨークへご案内——。

主人公アイザック・デイビスは42才のネイティブ・ニューヨークカー。TVの売れっ子ライターだったが、ドロップアウトしてシリアス作家をめざしている。そんな彼のいまの悩みはレズに走った別れた女房が、彼との結婚生活をバクロした小説を書くこととしていること。同棲中の17才の高校生トレシーの優しい眼差しがあるものの、気が気ではない。そんな時、彼の前に親友の愛人である翔んでるキャリア・ウーマンが現われた——。

ニューヨーク都会人種の無器用な恋愛事情と生きる不安を感動的に見つめ、79年4月下旬のスタート以来、全米でなお大ヒット・ロングラン中のベスト・ワン候補作品だ!

*比類なき美しさで迫る

白と黒のニューヨーク

ニューヨークを描いた作品、摩天楼の登場した映画数ある中で、これほど鮮かに都市の景観、生きたニューヨークを捉えたドラマも希少だ。その功績の大半を担うのが、名手ゴードン・ウィリスによる鮮烈なモノクロ撮影だ。

火花が明滅する夜の摩天楼のパノラマ・ショットから、夕暮のクインズボロ橋を背景にした詩情溢れるシルエット・ショットまで、カメラ撮影では絶対に成し得ない名場面がいっぱい。この他、エレインのレストラン、セントラル・パーク、ニューヨーク近代美術館、シネマ1、ヘイドン・プラネタリウム、メトロポリタン美術館、ロシアン・ティールームなど、マンハッタンの代表的スポットが目を見張るシングル・トーンで撮り出される。

MANHATTAN マンハッタン

ユナイテッド映画
United Artists
A Transamerica Company



■スタッフ■

監督・脚本……………ウディ・アレン
共同脚本……………マーシャル・ブリックマン
撮 影……………ゴードン・ウィリス
音 楽……………ジョージ・ガーシュウィン
演 奏……………ズービン・メータ指揮NYフィルハーモニック

■キャスト■

アイザック・デイビス……………ウディ・アレン
メリー・ウィルキー……………ダイアン・キートン
エール……………マイケル・マーフィ
トレシー……………マリエル・ヘミングウェイ
ジ ル……………メリル・ストリープ
エミリー……………アン・バーン



*甦える郷愁の

ガーシュウィン・メロディ

撮影もさることながら、このドラマ、音楽も話題を呼ぶこと必定。前二作でまるで音楽効果を無視していたアレンが、一転ジョージ・ガーシュウィン作曲のシンフォニック・ジャズを全編に散りばめているからだ。

「ラブソング・イン・ブルー」

「ス・ワンタフル」

「エムブレイサブル・ユー」

「誰かが私を見つめてる」etc.

かつて一世を風びした13曲のガーシュウィン・メロディが、ズービン・メータ指揮ニューヨーク・フィルハーモニックの壮麗な名演奏で甦える。まさにニューヨーク恋の唄であり、ウディ・アレンが愛してやまないインテイへの限りない讃歌になっている。

*笑いの後にやがて

切ない愛の終りが

かつての神経過敏症がウソのように、軽快に翔んで見せるウディ・アレンの至芸。加えて、いつになく豪華な共演陣が作品を一層華やかなものにしていく。ちよつとイヤミなインテリ・ウーマンにはまり役ダイアン・キートン、アレンの17才の同棲相手にマリエル・ヘミングウェイ、親友の大学教授にマイケル・マーフィ、その妻にアン・バーン、アレンの別れた悪妻にメリル・ストリープという顔振れ。中でもアレンの懇請で出演した文豪ヘミングウェイの孫マリエルの新鮮な個性が素晴らしく、ラスト、アレンとの別離のシーンが、編中最高の感動を盛り上げて秀逸だ。



4/26日(土)ロードショー
★同時上映 アニー・ホール

有楽町そごう側

スバル座 (212) 2826

伊勢丹前シネ・タウン

新宿ビレッジ2 (351) 3129